

福祉原理論演習

[演習] 1年・2年 選択 60時間 4単位

《担当者名》志水 幸[koh@hoku-i-ryo-u.ac.jp]

【概要】

この演習では、福祉政策・運営論（福祉原理論）の講義にもとづき、各テーマに関連する基本的な文献について講読する。

【学修目標】

この演習では、福祉原理について、具体的に再審問することを目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ） 6	世界史の構造と哲学の起源の理解	分析枠組みの整理	志水
7 ） 12	互酬（贈与と返礼） ネーション ミニ世界システムと福祉	関連文献の講読と応用	志水
13 ） 18	略取と再分配（支配と保護） 国 家 世界 = 帝国と福祉	関連文献の講読と応用	志水
19 ） 24	商品交換（貨幣と商品） 資本 近 代世界システムと福祉	関連文献の講読と応用	志水
25 ） 30	アソシエーション（自由と平等） イソノミア 世界共和国と福祉	関連文献の講読と応用	志水

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

文献・資料の分析・理解30%、 プレゼンテーション30%、 レポート40%により、総合的に評価する。

【教科書】

特に指定しない。必要な資料等については、適宜配布する。

【参考書】

必要に応じて、適宜指示する。

【学修の準備】

現代社会における社会福祉諸問題の中から、原理的課題を鋭く読み取り、そこに内在する論点の明示化に向けた思考を常に意識すること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという臨床福祉学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。